

## 冬の星座について

### <冬の星座>

※できれば別紙の「冬の星座」をご覧くださいながらお読みください。

「冬の星座」は、外では真上にかざして見るように描かれています。

まず、**オリオン座**を探します。12月頃だと東の空に夜8時ごろ、2~3月頃だと天頂（真上）付近による8時ごろ見えます。

**オリオン座**の横三ツ星を左下にたどると全店で最も明るい星が見えます。**おおいぬ座**の**シリウス**です。

**ベテルギウス**と**シリウス**を底辺とした正三角形を作ると、**こいぬ座**の**プロキオン**が見つかり、その正三角形を**冬の大三角**と呼びます。

**ベテルギウス**と**プロキオン**を結んだ線を直角に真上にたどると**ふたご座**の**ポルクス**と**カストル**が並んでいるのが見つかります。

**ふたご座**をなんとなく右方向にたどると**カペラ**（一等星）を含む五角形が見つかります。ぎょしゃ座です。

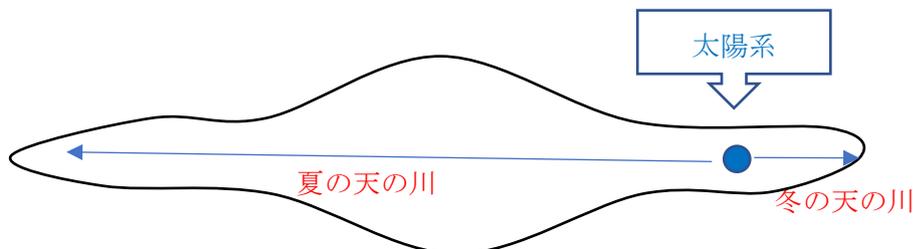
**オリオン座**の三ツ星に戻り、今度は右上にたどると赤く輝く**アルデbaran**が見つかります。**アルデbaran**は**おうし座**の目にあたります。

さらに右上にたどると小さな星がたくさん集まっています。**プレアデス星団**、日本名で**すばる**と呼ばれます。双眼鏡でのぞくとたくさん星が集まっているのがわかります。

また、**オリオン座**は**天の川**の中にあるので、双眼鏡で見ると星がたくさん見えます。

### <天の川>

**天の川**の正体は**銀河系**です。そして**冬の天の川**より**夏の天の川**の方がはっきり見えます。**太陽系**は**銀河系**の端にあり、**冬の天の川**は**銀河系**の外側を見ており、**夏の天の川**は**銀河系**の内側を見ているので、星の数が圧倒的に多いためです。



※**銀河**、**銀河系**・・・宇宙にあるたくさんの星の集まりを**銀河**といい、太陽系を含む銀河を**銀河系**といいます。